



2020年度
明治大学
卒業式

式次第

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 開 | 式 |
| Opening Remarks | |
| 2. 学位記授与 | 与 |
| Degree Conferral | |
| 3. 学長告辞 | 辞 |
| Presidential Address | |
| 4. 祝辞 | 辞 |
| Speech of Congratulation | |
| 理事長 | 長 |
| Chairman, Board of Trustees | |
| 校友会長 | 長 |
| President of the Alumni Association | |
| 5. 答辞 | 辞 |
| Student Speech of Response | |
| 6. 表彰 | 彰 |
| Commendation | |
| 7. 卒業記念講演 | 演 |
| Graduation Commemorative Lecture | |
| 8. 校歌静聴 | 聴 |
| The School Song | |
| 9. 閉式 | 式 |
| Closing Remarks | |



日時 2021年3月26日(金)
【午前の部】10時00分開式
【午後の部】13時30分開式

場所 日本武道館

Date: Friday, March 26, 2021
【Morning Ceremony】
Starting time 10:00
【Afternoon Ceremony】
Starting time 13:30

Venue: Nippon Budokan



MEIJI UNIVERSITY

告 辞



結束し毅然として事に当たる決意

学長 大六野 耕作

本日、ここに卒業ならびに修了を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。
ご卒業、おめでとうございます。

また、これまで卒業生を陰日向に支えてこられたご家族の皆さまにも、心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症防止の一環として、入場定員が制限されていることから、この日を心待ちにしておられたご家族の皆さまを、桜が咲き乱れる春爛漫の日本武道館にお招きできなかったことを、誠に残念に思っております。

さて、卒業生の皆さんにとって、この1年は様々な意味で忘れがたい日々であったと思います。昨年3月25日、東京都知事からの外出自粛要請に続き、4月7日、日本政府から新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」が発せられて以降、日本社会は激変しました。大学もこの障泥（あおり）を受け、これまでの大学運営の常識を捨て、学生・教職員の安全を第一に、100年に1度といわれる新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延（パンデミック）に手探りで対応せざるを得ませんでした。春学期には、すべての授業科目をオンラインに移行させ、6月1日までは図書館、情報メディア教室等の使用も制限され、指導教員と会うことさえままならない状況が続きました。また、最終段階を迎えていた就職活動も、慣れないオンライン面接を中心としたものに移行し、対面で教職員に相談できない状態が続いたことから、不安に苛まれた方も多かったと思います。こうした先の見えない困難な状況の中で、卒業論文や修士論文の作成に取り組み、本日、晴れてご卒業・修了を迎えられた皆さんに対し、学長として改めて敬意を表したいと思います。

われわれが経験したこの「生き難さ」（いきにくさ）は、皮肉なことに、これまで人間が築き上げてきた文明のあり方そのものや、人間の本質を浮かび上がらせるものとなりました。今から74年前、アルベール・カミュは、その作品「ペスト」の中で、得体のしれない感染症に遭遇した時の人間の心の動きを活写しています。漠然たる不安、つかの間の安心、恐れ、怒り、抵抗、そして閉塞感と孤立。人間は、いつの時代も、得体の知れない不条理に出会うたびに、同じ事を繰り返して来たのかもしれない。しかし、われわれは74年前のカミュの嘆きには与しません。いかに状況が困難なものであっても、あらん限りの知識と知恵を寄せ合い、仲間と共に強い決意をもって前に進む。これこそが、みなさんの母校、明治大学の「同心協力」の精神です。このことを、是非、心に深く刻んでいただきたいと思います。

依然として、新型コロナウイルス感染症の終息は見通せない状況にあります。皆さんが明治大学で培った知識、知恵、そして精神力を総動員して、それぞれの持ち場で、これまでの文明のあり方を問い直し、次代の文明モデル創造に貢献していただくことを心から期待しています。本年は、明治大学創立140周年の年に当たります。140年前、激動の時代に立ち向い、新たな時代を切り開こうとした3名の本学創立者（岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操）のように、刻苦（こっく）を厭わず粘り強く努力し続けることで、「人間が人間として生きるに値する新たな社会（世界）」を生み出していきたいと思っております。明治大学の卒業生として「前へ」の気概を持って力強い一歩を踏み出してください。

最後に、イギリスのエリザベス女王が、BBCを通じて全世界に届けた次の言葉を皆さんにも贈りたいと思います。

“Together, we are tackling this disease, and I want to reassure you that, if we remain united and resolute, then we will overcome it...better days will return.”

私たちはともにこの病気に立ち向かっています。私達が結束し、毅然として事に当たれば、かならず打ち勝つことができます……よい時代は必ず戻ってきます。

卒業生、修了生の皆さん、「力強く前へ！」

祝 辞



変化を先取りする気概をもって「前へ」

理事長 柳谷 孝

祝辞に入ります前に、新型コロナウイルス感染拡大により多大な苦難に遭われた皆様に衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、その渦中で私達の命を守り、生活を懸命に支えておられる方々に深く感謝を申し上げます。依然としてこの惨禍が続いていますが、安心・安全で活気ある日常生活が送れる日が一日も早く到来することを、心より願っております。

あらためまして、卒業ならびに修了を迎えられる皆さん、このたびは誠におめでとうございました。本学で多くの学びや出会いを重ねてきたことでしょうか、学生生活最後の1年は、予期せぬ状況で学修環境も一変し、不安や戸惑いがある中で日々自己を律しながら研鑽に励まれたことでしょうか。皆さんが揺るぎない信念とたゆまぬ努力のもと、苦勞を乗り越えて学位を取得されましたことに心より敬意を表します。また、ご家族の皆様方にもお慶びを申し上げますとともに、コロナ禍の難しい状況の中、本学へ多大なるご理解とご協力を賜りましたことに学校法人明治大学を代表し、厚く御礼を申し上げます。

ところで、世界に未曾有の混乱をもたらした新型コロナウイルスは、社会に内在する様々な課題を改めて浮き彫りにさせ、各国は試練ともいべき厳しい対応の選択を余儀なくされています。これまでの気候変動や資源問題などの難題も相まって、私達は地球のキャパシティを超えない「続く世界」を目指して地球環境との共生へと舵を切る局面を迎えており、持続可能な開発目標「SDGs」や人類の営みで増え続けたCO₂を減らす「カーボンニュートラル」の奔流が、世界を席卷する時代に向かいつつあります。これまで当たり前に行ってきた生活様式や社会活動が否応なしに変容を迫られて「ニューノーマル」への転換が進みゆく中で、今後、社会構造の変化するスピードは、私達の予測を超えて一層加速し続けてゆくことでしょう。

そのような激動の時代に船出する皆さんには、情報に対する感度を高めて変化を見極め、それぞれの「Solution」すなわち「解」を創造して行動へと移していけるかが一段と問われてきます。アメリカの哲学者ウィリアム・アーサー・ワードは、こうした状況を大海原での航海になぞらえて、深い洞察に満ちた言葉を残しています。それは、

“The pessimist complains about the wind. The optimist expects it to change. The realist adjusts the sails.”-William Arthur Ward

(悲観的な人は風が出てきたと嘆き、楽観的な人はそのうち風は変わるだろうと待つ。しかし、現実的な人は風向きを読んで帆を合わせてゆくのだ。)

というものであります。

もとより人類の営みは、不可能や未知と呼ばれる数多くの事象を前に、先人達が飽くなき探究を続けて真理を解明し、「解」を創造し続けてきた歴史の積み重ねであります。本学を卒業される皆さんも、現在のコロナ禍や今後訪れるであろう困難を前にした時、自身の環境を嘆いたり、状況が好転するのをただ漫然と待つのではなく、変化した先の世界とそこでの自分の姿を見据えた上で、今やるべき取り組みを懸命に続けて、未来の変化を先取りしてゆくことに果敢に挑んでほしいのです。

そのためには、卒業後も主体性をもって自ら「考える材料」を発見してゆき、そして「自分で考え抜く力」を磨き続けてゆくことが肝要です。明治大学が理念として掲げる「『個』を強くする大学」、この「『個』を強める」という真髄も、まさにその点にあります。本学で培った学びや経験を基に、実社会で得られるあらゆる知識や情報を自らの成長の糧にして、時代の先駆者として必要な判断力と実践力を高め続けていくことに期待を致しております。

これからの社会を自らが創造してゆく「未来の担い手」としての気概と不屈の明治魂を胸に、変革する社会の先頭に立って、「前へ」と時代を切り拓いていってください。そして、地球市民の一員として、国や人種の違いを超えて協調できる世界を希求するとともに、人類と地球環境との調和した未来を創造してゆくことに、皆さん一人ひとりが貢献してほしいと、切に願っています。

本日の新しい門出に際し、皆さんの前途に幸多きことを心より祈念いたし、祝辞といたします。ご卒業、誠にありがとうございました。

答辞・総代・博士後期課程修了者

答 辞

【午前の部】

〈正〉 大 地 菜 央 (経営学部経営学科)
 〈副〉 田 川 雄 基 (経営学部経営学科)

【午後の部】

〈正〉 藤 井 達 也 (理工学部情報科学科)
 〈副〉 櫛 翔 佑 (理工学部情報科学科)

総 代

●法学部

〈正〉 石 田 愛 澄 (法律学科)
 〈副〉 竹 内 淳 人 (法律学科)

●商学部

〈正〉 甘 中 翔 (商学科)
 〈副〉 仁 田 千 暁 (商学科)

●政治経済学部

〈正〉 池 田 紘 大 (経済学科)
 〈副〉 滝 口 真 亜 子 (経済学科)

●文学部

〈正〉 横 谷 瑛 美 (文学科)
 〈副〉 綿 貫 裕 太 (文学科)

●理工学部

〈正〉 藤 井 達 也 (情報科学科)
 〈副〉 櫛 翔 佑 (情報科学科)

●農学部

〈正〉 有 賀 俊 裕 (農学科)
 〈副〉 古 屋 英 美 奈 (農学科)

●経営学部

〈正〉 大 地 菜 央 (経営学科)
 〈副〉 田 川 雄 基 (経営学科)

●情報コミュニケーション学部

〈正〉 水 吉 栞 菜 (情報コミュニケーション学科)
 〈副〉 永 島 朋 佳 (情報コミュニケーション学科)

●国際日本学部

〈正〉 松 木 響 子 (国際日本学科)
 〈副〉 藤 奈 々 (国際日本学科)

●総合数理学部

〈正〉 永 井 莉 乃 (ネットワークデザイン学科)
 〈副〉 村 松 拓 真 (現象数理学科)

●大学院・博士前期課程

〈正〉 高 橋 菜 由 理 (文学研究科)
 〈副〉 畔 蒜 和 希 (文学研究科)

●専門職大学院・専門職学位課程

〈正〉 堀 田 雅 広 (会計専門職研究科)
 〈副〉 YE WENXIU (会計専門職研究科)

博士後期課程修了者

法学研究科

柏 崎 早 陽 子 博士 (法学)
 中 村 健 太 郎 博士 (法学)
 青 木 亮 祐 博士 (法学)
 田 村 翔 博士 (法学)

公法学専攻

法学研究科

平 山 陽 一 博士 (法学)
 鈴 木 拓 也 博士 (法学)

商学研究科

高 橋 文 紀 博士 (商学)
 野 尻 泰 民 博士 (商学)
 大 藏 直 樹 博士 (商学)

政治経済学研究科

鎌 江 一 平 博士 (政治学)
 黒 石 啓 太 博士 (政治学)

政治経済学研究科

吉 岡 努 博士 (経済学)

経営学研究科

伊 藤 真 一 博士 (経営学)
 豊 崎 仁 美 博士 (経営学)
 杉 原 大 輔 博士 (経営学)
 小 林 麻 美 博士 (経営学)

文学研究科

董 春 玲 博士 (文学)

文学研究科

FORGO TEODORA MARIA 博士 (文学)

文学研究科

稲 山 玲 博士 (文学)

文学研究科

石 原 豪 博士 (史学)
 張 聖 東 博士 (史学)

理工学研究科

猪 股 司 博士 (工学)
 鎌 田 太 陽 博士 (工学)
 女 屋 崇 博士 (工学)
 XU HANG 博士 (工学)
 日 比 野 祐 介 博士 (工学)
 李 曉 楊 博士 (工学)

理工学研究科

NOOR ALIAH BINTI ABDUL MAJID 博士 (工学)

理工学研究科

伊 藤 瑞 希 博士 (工学)
 谷 智 弘 博士 (工学)

農学研究科

諸 星 和 紀 博士 (農学)

情報コミュニケーション研究科

情報コミュニケーション学専攻
 中 臺 希 実 博士 (情報コミュニケーション学)

教養デザイン研究科

教養デザイン専攻
 佐 々 木 菜 緒 博士 (学術)
 羅 皓 名 博士 (学術)

国際日本学研究科

国際日本学専攻
 大 塚 清 高 博士 (国際日本学)
 大 船 ち さ と 博士 (国際日本学)

グローバル・ガバナンス研究科

グローバル・ガバナンス専攻
 HARTINI BINTI MOHD NASIR 博士 (グローバル・ガバナンス学)

学生表彰

連合父母会教育振興賞 (50名)

◆ 公認会計士試験合格者

市原 宙翔 (商・商)	伊藤 雅朗 (商・商)	小枝 直文 (政・経済)	小暮 卓矢 (営・会計)
森田 真衣 (商・商)	奥 健将 (商・商)	高橋 昇汰 (政・経済)	高橋 大聖 (営・会計)
佐藤 志保 (商・商)	杉本 瑛介 (商・商)	太田 暁弘 (政・経済)	後藤 綾香 (営・会計)
藤 祐輔 (商・商)	山中 敬介 (商・商)	拝野 響 (政・経済)	鈴木 涼太 (営・会計)
小川 香帆 (商・商)	並木 里帆 (商・商)	五十畑直登 (政・経済)	西堀 皓亮 (営・会計)
吉川 雄太 (商・商)	宮崎 香澄 (商・商)	鬼頭 翔一 (政・経済)	国枝 拓 (営・会計)
甘中 翔 (商・商)	楠根 恵多 (商・商)	神谷倫之助 (政・地域行政)	君和田隆太 (営・会計)
林 旅羽 (商・商)	山中 有彩 (商・商)	井上 瑠菜 (営・会計)	岡田健太郎 (理・応化)
右高 由登 (商・商)	佐野 亮介 (商・商)	堀池 貴一 (営・会計)	

◆ 国家公務員採用総合職試験合格者

川崎 瞳 (法・法律)	中野虎太郎 (法・法律)	宮原恵里菜 (政・経済)	横山 秀弥 (農・農)
井俣 早瑛 (法・法律)	亀井 龍 (法・法律)	高築 晶 (文・史地)	田部井智也 (農・農)
木挽 真優 (法・法律)	丸岡 龍平 (政・政治)	松本 史佳 (文・心社)	
高橋 拓也 (法・法律)	高島慎太郎 (政・経済)	有賀 俊裕 (農・農)	

◆ 司法試験合格者

遠田昂太郎 (法・法律)

校友会表彰 (37名, 5団体)

◆ 学業成績優秀者

石田 愛澄 (法・法律)	仮屋園都萌 (文・心社)	榎戸 祐太 (理・数)	山口真里佳 (営・会計)
里見 柚花 (商・商)	深井悠太郎 (理・電生)	西原 柊人 (理・物理)	相磯 珠希 (営・公共)
白崎 伶奈 (政・政治)	塚田 瑠唯 (理・機工)	曾 璟儀 (農・農)	近藤 将吾 (情・情コ)
小川 愛佳 (政・経済)	酒井 悠貴 (理・機情)	川田 彩 (農・農化)	朴 エリ (国・国際)
古谷 優菜 (政・地域)	新田 哲史 (理・建築)	高尾亜佑美 (農・生命)	尾關 大地 (総・現象)
横谷 瑛美 (文・文)	円城 涼美 (理・応化)	中尾 有希 (農・食料)	中島 萌子 (総・先端)
廣田 梨紗 (文・史地)	樫 翔佑 (理・情報)	大屋 寛汰 (営・経営)	鎌方 理央 (総・ネット)

◆ スポーツ分野において顕著な業績を挙げた者

[団体] ●水泳部 ●射撃部 (女子) ●サッカー部 ●拳法部 ●少林寺拳法部

[個人] 大保 海士 (法・競走部) 惠中 崇敬 (商・少林寺拳法部)
溝畑 樹蘭 (政・水泳部) 荒川 仁 (政・自転車部)
梶山 和人 (法・少林寺拳法部)

◆ 卒業生として模範となる者

遠田昂太郎 (法・法律) 加藤 綾夏 (農研・農) 藤原 瑠 (先研・現象) 又吉 康綱 (先研・先端)

スポーツ表彰（8団体、10名）

◆ 団 体

優秀賞

- 水泳部 第96回日本学生選手権水泳競技大会 男子総合 優勝
- 射撃部（女子） 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第33回女子総合 優勝
- サッカー部 第94回関東大学サッカーリーグ戦 優勝（創部以来初の二連覇）
- 拳法部 第65回全日本学生拳法選手権大会 男子 優勝
- 少林寺拳法部 第54回少林寺拳法全日本学生大会 総合優勝

敢闘賞

- 馬術部 第63回全日本学生賞典総合馬術競技大会 2位
- 射撃部（男子） 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第67回男子総合 2位
- ラグビー部 関東大学ラグビー対抗戦 優勝

◆ 個 人

優秀賞

- 競走部 大保 海士（法） 第97回東京箱根間往復大学駅伝競走 8区 区間賞
- 水泳部 溝畑 樹蘭（政） 第96回日本学生選手権水泳競技大会 100m自由形 優勝
- 少林寺拳法部 梶山 和人（法） 第54回全日本学生大会 3人掛けの部 優勝
- 少林寺拳法部 恵中 崇敬（商） 第54回全日本学生大会 男子3段以上の部 優勝
- 自転車部 荒川 仁（政） 第89回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース 男子エリートチームスプリント 優勝

敢闘賞

- 端艇部 村岡 美晴（農） 第47回全日本大学選手権 女子舵手無しクォドルプル 2位
- 水泳部 中西 晟（営） 第96回日本学生選手権水泳競技大会 200m背泳ぎ 2位
- 射撃部 高橋 佳伶（国） 2020年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会 R3×20 2位
- ホッケー部 鶴飼 聡太（政） 第69回全日本学生ホッケー選手権大会 優秀選手
- ホッケー部 野井 辰真（法） 第69回全日本学生ホッケー選手権大会 優秀選手

卒業記念講演者 ご紹介



片倉 正美

EY新日本有限責任監査法人理事長・公認会計士

未来を創る皆さんへ

プロフィール

1991年 明治大学経営学部卒業。同年、太田昭和監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）入社。
2016年 常務理事企画担当，EY Japan Brand, Marketing and Communications Managing Partner 就任。
2019年 EY新日本有限責任監査法人理事長，EY Japan Assurance Service Managing Partner 就任。

大手監査法人初の女性理事長として、EY Japanにおけるアシュアランスサービスをけん引する。
IPOから米国上場するグローバル企業に至るまで、多くの日本企業の監査に従事。
2020年7月より、EY新日本有限責任監査法人 アシュアランス・イノベーション本部長を兼任。
次世代監査の姿であるアシュアランス4.0、継続的監査手法へ向け、デジタルへの投資（監査法人のDX）を積極的に推進。

【日本武道館での新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について】

- (1) 収容人数を5,000席に制限しているため、着席不可の座席に表示をしております。表示のない座席に着席するようお願いいたします。
- (2) 会場内では、常時マスクを着用し、不要な会話を控えるとともに、周囲の方との距離を空けて、密集を避けるようご協力ください。
- (3) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をスマートフォンにインストールし利用可能な状態にしてご来場ください。



接触確認アプリ

○iPhone



○Android



○厚労省ウェブサイト



- (4) 館内にはアルコール消毒液が設置されていますので、手指消毒の徹底をお願いします。
- (5) トイレ利用後は石鹸を使用して手洗いを徹底するようにお願いします。また、洋式便座使用後はふたを閉めてから水を流すようにお願いします。

明治大学校歌

児玉花外 作詩
山田耕筈 作曲

一
白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二
権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意気をば知るや
我等が健児の意気をば知るや

三
霊峰不二を仰ぎつゝ、
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

【注意事項】

- (1) 館内及び武道館周辺は禁煙です。
- (2) 式典終了後は大変混雑するため、武道館周辺での待ち合わせはご遠慮ください。
- (3) 携帯電話の電源はお切りください。
- (4) 気分が悪いときは、医務室にご案内しますので、係員にお申し出ください。
- (5) 手荷物預り所はありませんので、貴重品・携帯品等の管理には十分に留意してください。
- (6) 火災・災害等発生時は、係員の指示に従い行動してください。
- (7) 午前の部・午後の部で完全入替となります。
- (8) 閉式後の退場は「清水門」へ誘導しますので、係員の指示に従ってください。詳しくは右図をご参照ください。
- (9) 退場時は密集にならないように係員の指示に従ってください。
- (10) 式典終了後、飲食を伴う懇親会や謝恩会などの開催は自粛してください。



【Live配信URL】

当日は、式典の様子を以下のURLから配信いたします。

午前の部 <https://youtu.be/AXplsPFdEFY>
(当日「午前の部」開催中に限り有効)



午後の部 https://youtu.be/8oO_x9lLclg
(当日「午後の部」開催中に限り有効)



また当日の式典の動画は、式典後、明治大学ホームページで公開いたします。